

第3期能代市中心市街地活性化計画（素案）に対する  
意見募集（パブリックコメント）の結果について

1. 募集期間

令和6年1月24日（水）～2月22日（木）

2. 実施方法

能代市ホームページでの閲覧のほか、以下の場所に閲覧資料を備え付け、郵送、ファクシミリ、電子メールのいずれかの方法により意見を募集

（資料の閲覧場所）

- ・能代市役所本庁舎1階市民交流スペース行政情報コーナー、
- ・能代市役所二ツ井町庁舎1階市民フロア
- ・向能代・南・扇淵・檜山・鶴形・常盤の各地域センター、富根出張所
- ・畠町新拠点

3. 提出のあった意見

2件（7項目）

4. 意見の概要及び意見に対する回答

番号	意見の概要	意見に対する回答
1	奥羽本線駅を東能代駅から能代駅に	東能代駅－能代駅間の奥羽本線への編入によって、中心市街地と奥羽本線の市内各駅との接続が乗り換えなく可能となるため、中心市街地の生活利便性の向上や来街者の増加に寄与することが期待されます。 しかし、既存の敷設線路や設備等ではこの実現は困難で、大規模な改修整備等が必要になるものと考えられます。 また、この駅間の利用者数は少なく、かつ、減少傾向にある現状を考慮すると、運営するJR東日本株式会社からこの方針に同意を得ることは、非常に困難と考えます。
2	バスステーションを能代駅近くに移転	バスステーションが能代駅付近に移転することによって、交通結節点としての機能が充実し、利便性の向上に寄与することが期待されます。 一方、バスステーションは民間事業者により整備されており、土地の確保や施設整備等、一定の費用が想定されることから、利用者の増加等といった効果により判断される

		<p>ものと考えます。</p> <p>バスステーションの能代駅付近への将来的な移転の可能性について、今後、バス事業者と意見交換をしてみたいと考えております。</p>
3	金勇近くの角の店舗を購入し駐車場の整備	<p>現在、旧料亭金勇の来場者用駐車場として、施設の入り口付近に普通乗用車用4台分、西側に大型バス用1台分のスペースを設けております。また、施設周辺には、市役所の駐車場があり、基本的には無料開放となっております。</p> <p>旧料亭金勇の近隣地への新たな駐車場整備によって、施設来場者だけでなく、周辺商店等の利用者にとって利便性向上につながると考えますが、費用対効果を鑑み、現在ある駐車場を有効活用し、中心市街地への誘客を図ってみたいと考えております。</p>
4	将来、高校も2校くらいになると思うので、県に要望し松陽か科学技術高校に能代高校を統合させ中心市街地に人流を増やすか、能代高校を中心市街地に移転する。	<p>秋田県の計画に基づき、平成25年に能代北高校と能代商業高校が統合して能代松陽高校に、令和3年に能代工業高校と能代西高校が統合して能代科学技術高校になっております。</p> <p>今後、状況により学校統合の必要性が議論される際には、場所等を含め、県や関係者等と協議してみたいと考えております。</p>
5	東能代駅・能代駅・市役所・柳町イオン・アクロス・イオンタウンにレンタルサイクル設置	<p>現在、能代駅前にある「市民プラザ」でレンタサイクル（2台）のサービスを実施しております。しかし、利用者数は年間100人未満と、非常に少ない状況にあります。</p> <p>レンタサイクルを行うに当たっては、設置場所、管理及び運用について検討が必要であり、能代市中心市街地活性化推進協議会等で計画の進捗管理をする中で、まちなかでのレンタサイクル整備に対する機運が高まった際には、実施主体を含め研究してみたいです。</p>
6	景観の悪いビルや歩道にカラーコーンを置いてある建物の解体を促し、更地にしてもらう	<p>民間所有の建物解体等については、基本的に所有者の意思が尊重されます。建物の解体を促すことについては、建築基準法で、著しく保安上危険であり、または著しく衛生上有害であると認められるなど、危険が差し迫った場合に限定的に必要な措置を命ずることができるとされております。</p> <p>空き家でない危険な建物への対応に当たっては、県の建築主事等と市の関係部署が連携し、情報共有を図りなが</p>

		<p>ら、所有者等に対して建築物の解体や修繕等の適切な措置を求めています。</p> <p>また、周辺へ悪影響を及ぼす可能性が高い空き家については、所有者等に対して解体、修繕、立木竹の伐採その他周辺の生活環境の保全を図るために必要な措置をとるよう指導等を行い、早期に解決が図られるよう努めています。</p>
7	<p>第3章の2.の(1)計画の推進体制について</p> <p>一般市民が広く参加でき、情報共有・意見交換・提案できる機会も必要だと考えます。</p> <p>また、他の分野においても同じく、一般市民が参加できる機会をつくることは必要だと思います。</p> <p>私たち能代のまちづくりについて、広く市民が共に知り、学び、共に考えながら意見を交える機会をつくる、という一手間を加えることで、多くの市民をまちづくりにどんどん巻き込んでいただきたい。</p> <p>市民の中にも、まちづくりについて真剣に考え、様々な良い意見やアイデアを持ち、参加したいと思っている人たちは多いと感じる。</p> <p>この一手間は、能代のより楽しい活力あるまちづくりのためには、とても大事なプロセスだと考える。</p>	<p>能代市中心市街地活性化計画を推進するにあたり、商店会組織や商工会議所、市民団体等が自主的に設置した「中心市街地活性化推進協議会」から、中心市街地活性化に関する協議・意見交換、事業の進捗状況と事業効果等の点検等を行っていただいております。様々な属性の方々で構成されている組織であり、多くのご意見が反映されたと考えています。</p> <p>他方、様々な市の政策・施策を推進するにあたり、広く市民の方々と意見交換等していくことは重要なことと認識しています。今後、計画の事業を実行していく中で、様々な場面で市民と対話しながら、中心市街地の活性化に努めてまいりたいと考えています。</p>